指定管理導入施設実績評価シート（令和７年度）

施設所管課	都市計画部　公園緑地課

施　設　名	大石緑地スポーツ村（一部を除く。）
指定管理者	おおつ協会都市公園グループ（大石）
指定期間	令和6年4月1日　～　令和9年3月31日
指定管理料	年額0円　（令和7年度）　（総額0円）
設置目的	スポーツ、レクリエーション利用の場を提供するとともに、効率的な管理運営を目的とする。
業務内容	（1）有料公園施設の使用許可又は不許可を行うこと。 （2）公園施設を良好な状態に維持管理すること。 （3）公園の適切な利用管理を行うこと。

所管課総合評価	Ⅰ～Ⅳによる総合評価	総合評価コメント
	B（良好）	国スポ開催に伴い、可能な範囲で計画外の修繕を行ったことは評価できる。次年度においても、事業運営及び自主事業において、利用促進や利用者の満足度向上に努められたい。

	評価項目及び評価の視点	確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
Ⅰ実施体制	**施設の設置目的の達成** □ 施設の設置目的を十分に理解し、それを踏まえ管理運営に努めていたか。	条例、仕様書、事業計画書、事業報告書	B（良好）	スポーツを育む南部地域の拠点として安心安全に利用できるよう施設の管理運営に努めた。	B（良好）	施設の設置目的を理解したうえで、管理運営に努めていた。
	職員の勤務実績・配置状況・労働条件 □ 事業計画書に沿った職員を配置していたか。 □ 必要な資格、経験を有する職員を確保していたか。 □ 出勤状況、勤務形態等、労働条件が適正であったか。 □ 障害者の雇用促進に努めていたか。	仕様書、事業計画書、日報、勤務表、資格証、実地調査、労働条件モニタリング	B（良好）	必要な資格、経験者の配置と適正な労働条件にあった勤務形態で管理運営に努めた。	B（良好）	事業計画書に沿ったうえで、必要な経験を有する職員を配置していた。
	職員の研修 □ 事業計画書に基づき、業務に必要な研修、教育が実施できたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、研修資料等	B（良好）	消防防災訓練、救命講習会,等実施した。	B（良好）	事業計画書に基づいた研修を全職員が受講していた。また、追加で心肺蘇生法の研修を受講していた。
	法令等遵守 □ 関係法令、条例等を遵守していたか。	仕様書、関係法令等、実地調査	B（良好）	関係法令、条例等を遵守し適正適切な管理運営に努めた。	B（良好）	都市公園条例等、関係法令を遵守していた。
	個人情報保護・情報公開 □ 個人情報・情報公開の取り扱いについて、協定書に基づき適切に行っていたか。	仕様書、協定書、管理方法（実地調査）	A（優良）	個人情報保護研修研修等を行い厳格に管理した。	B（良好）	個人情報については、マニュアルに基づいた指導徹底を図り、適切に管理していた。
	管理記録 □ 業務日誌等を適切に整備、保管していたか。 □ 点検結果や修繕履歴等を適切に記録・保管していたか。	日報、点検結果等関係書類、実地調査	A（優良）	業務日誌、点検結果等を適切に記録し保管。	B（良好）	点検結果や作業記録は適切に記録し、保管していた。
	連絡体制 □ 市と指定管理者間で十分に連絡、調整を行っていたか。 □ 事業計画書、月報、事業報告書、その他報告書等の提出や内容が適正であったか。	仕様書、事業計画書、事業報告書等関係書類	B（良好）	市と常に連絡を取りながら、正確、適正な報告書等を提出した。	B（良好）	市との連絡、調整は十分に行っていた。また、各種報告書の提出や内容は適正であった。
	緊急時対応 □ 事故・災害等の緊急時の連絡体制が確保されていたか。 □ 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行うなど、職員への指導徹底を図っていたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、緊急時対応マニュアル	B（良好）	緊急時の連絡体制の確立緊急時のマニュアルを職員全員が把握し対応できるよう訓練を実施した。	B（良好）	緊急時のマニュアルが整備されており、職員へ指導徹底を図っていた。
	《Ⅰ総　括》　業務の実施体制に関する評価【標準8項目／当施設8項目】		B（良好）		B（良好）	

指定管理導入施設実績評価シート（令和７年度）

	評価項目及び評価の視点	確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
Ⅱ内容・水準	**施設管理** □ 開館日、開館時間を遵守していたか。 □ 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じていたか。	条例、規則、仕様書、事業計画書、日報	A （優良）	開館日、開館時間の遵守。事故防止対策のため、早朝からの巡回にて、危険の早期発見に努めた。	B （良好）	開館日、開館時間を遵守していた。また早朝より巡回を実施し、事故の防止、安全確保に努めていた。大会開催時は、柔軟に対応していた。
	利用状況 □ 利用者数、稼働率等が前年度実績や目標と比較し適正な水準であったか。	事業計画書、事業報告書	B （良好）	利用者の声の反映、利用促進の方策などにより適正な水準であった。	B （良好）	前年度と比較すると、全体数は96%と同程度であった。グラウンドは、大会利用増加のため、利用人数が約20%増加していた。
	利用者対応 □ 利用許可や案内等、職員の応対は迅速かつ適切に行ったか。 □ 服装、言葉遣い、接客態度等の接遇は適切であったか。 □ 利用者に対して設備、備品等を適切に提供したか。	業務マニュアル、意見・苦情等受付簿、アンケート、実地調査	B （良好）	適切な接遇で迅速な対応に心掛け、気持ち良く帰っていただけるように努めた。	B （良好）	職員の応対は適切であった。また気持ちのよい利用ができるよう、設備、備品を適切に提供していた。
	業務運営（全体） □ 事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 □ 利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	B （良好）	できる限り事業計画書に沿って運営、大会等の誘致にも積極的に取り組んだ。	B （良好）	概ね事業計画書どおりに実施していた。また、利用促進に向けた誘致も積極的に行っていた。
	自主事業運営 □ 自主事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 □ 利用者の満足度を高める工夫がされたか。 □ 事業の実施により市民サービスの向上に効果があったか。	仕様書、自主事業計画書、自主事業報告書、実地調査	B （良好）	自主事業も計画書どおりに実施、ご利用者の要望に出来る限り対応し満足度向上に努めた。	B （良好）	事業計画書どおりの自主事業を実施していた。また利用者アンケートにて利用者のニーズを把握し、可能な範囲で事業に反映していた。
	維持管理 □ 施設、設備の保守管理（点検・修繕）を計画的に実施したか。 □ 修繕が必要な箇所について、適切に対応したか。 □ 日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか。 □ 備品台帳に基づき備品を管理、修繕したか。 □ 植栽、樹木等の維持管理を定期的に実施し、美観が保たれていたか。	仕様書、備品台帳、点検結果、委託契約書、実地調査	B （良好）	毎日の清掃、警備の実施。保守管理を計画的に実施し、修繕は適宜対応した。備品台帳に基づき備品を管理した。	B （良好）	施設の保守管理については、計画的に実施していた。また、日常の樹木管理、清掃等は適切に実施していた。
	情報提供 □ 施設案内、事業の開催案内等のパンフレット類を整備し、情報発信に努めていたか。 □ ホームページ等の管理及び更新は適切に行っているか。	パンフレット・ホームページ等、実地調査	B （良好）	パンフレットのほかホームページ等を適切に管理し更新を行った。	B （良好）	施設内での掲示やパンフレット類を整備し、情報発信を行っていた。ホームページの管理及び更新は適切に行っていた。
	環境配慮 □ 省資源、省エネルギー等環境への配慮、リサイクル等の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B （良好）	消耗品使用の削減、こまめな消灯等で省エネ・CO2削減に努めた。	B （良好）	消耗品の使用の削減を行い、環境配慮に努めていた。
	ユニバーサルデザイン等への配慮 □ ユニバーサルデザイン、バリアフリーへの配慮、障害者に対しての合理的配慮の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B （良好）	筆談等できる場所を設けるなど環境を整え意思疎通しやすい方法を取り入れながら個人に合わせて柔軟に対応するように努めた。	B （良好）	筆談対応ができる場所を設けるなど、個人に合わせて対応できるように合理的配慮の推進に努めていた。
	意見・要望・苦情 □ 意見・要望・苦情等を把握する仕組みを確立しているか。 □ 要望・苦情等の対応に迅速かつ適切に対応し、可能なものは管理運営に反映していたか。	事業計画書、事業報告書、日報、アンケート	B （良好）	苦情・要望等の対応は迅速、丁寧に対応し、可能な限り管理運営に努めた。	B （良好）	苦情・要望については、可能な限り迅速に対応していた。また、可能なものは、管理運営に反映していた。
	利用者アンケート □ 利用者アンケート調査等を実施するなど、利用者ニーズを積極的に把握し、その結果を管理運営に反映していたか。	事業計画書、アンケート、実地調査	B （良好）	窓口にアンケート用紙を置き、受付窓口から見えない所に投函ボックスを設置し多くの意見等が聞けるようにした。	B （良好）	アンケート回収用のボックスを設置するなど、利用者の満足度やニーズを積極的に把握する仕組みを確立していた。
	《Ⅱ総　括》　業務の内容・水準に関する評価 【標準11項目／当施設11項目】		**B（良好）**		**B（良好）**	
Ⅲ収支等	**経理事務** □ 専用口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行ったか。 □ 経理区分を設け、指定管理料を適正に執行していたか。 □ 料金徴収、減免、還付の手続きは適切に処理していたか。	預金通帳、出納帳、利用申請書・減免申請書等、実地調査（金庫等）	B （良好）	料金徴収、減免等トリプルチェックを実施し、適切に処理した。つり銭等現金も適切に管理した。	B （良好）	料金徴収、減免の手続き等については、ダブルチェックを行い、適切に処理していた。
	収支状況 □ 予算と決算に大幅な相違がなく、収入―支出はプラスとなっているか。 □ 収支状況が対前年度比及び当初の目標を達成しているか。	事業計画書、事業報告書	B （良好）	前年度同期と比べ、利用料金及び自主事業の合計収入は約14%減、合計支出は約10%減であった。	B （良好）	自主事業においては、収支ともに当初の計画と比較して、±10%であり、管理事業においても収入においては、同様であった。支出については、国スポ開催に伴い前倒しで修繕を行ったため、計画比141%となった。
	経費節減の取組 □ 経費削減に向けた取り組みを積極的に実施し、その効果が上がったか。 □ 清掃、警備、保守点検、修繕等の第三者への委託が適切な水準、内容で実施されたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、委託契約書、実地調査	B （良好）	簡易な修繕等はなるべく直営での作業で対応し経費節減に取り組んだ。	B （良好）	経費削減のため、軽微な作業は、直営で行い費用の削減を実施していた。また、第三者への委託は適切な水準で実施されていた。
	《Ⅲ総　括》　経費の収支等に関する評価 【標準3項目／当施設3項目】		**B（良好）**		**B（良好）**	

指定管理導入施設実績評価シート（令和７年度）

自己の取組等）Ⅳその他（独	**その他** □ 努力事項として掲げた広域集客の取り組みを推進したか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	**B（良好）**	広域集客に向けた大会やイベント等誘致の取り組みを推進した。	**B（良好）**	広域集客の取り組みとして、県外利用者の誘致の取り組みを実施していた。
《Ⅳ総　括》　その他に関する評価 【当施設1項目】			**B（良好）**		**B（良好）**	

主な成果（全体）

使用料（利用料）	**目標**	15,000,000 円	⇒	**実績**	14,479,879 円
稼働率	**目標**	33 %	⇒	**実績**	37 %
利用者数	**目標**	49,420 人	⇒	**実績**	50182 人

【指定管理者コメント】

人件費高騰・物価上昇等の予定外の管理費増加があったが、施設利用料の増加に努め、自動水栓化等で光熱費の削減を行い円滑な施設運営ができた。国スポ開催に向けて、公園緑地課と協議を行いながら、政策調整部国スポ・障スポ大会局が要望する、施設の修繕等（四阿修繕・フェンス修繕等）を行った。

【施設所管課コメント】

国スポ開催に伴い、可能な範囲で計画外の修繕を行ったことは、評価できる。また、県外利用者の誘致を行うなど、引き続き施設利用促進に努められたい。

自主事業実施による成果

＜主な自主事業の実施状況＞

事業名	指定自主事業・自主事業の別	事業内容	実施状況（実施・追加・未実施）	特記事項（「未実施」の場合はその理由）
ﾃﾆｽ教室	自主事業	初級・中級者向けの基本習得コース	実施	
テニススクール	自主事業	中級者向けのレベルアップコース	実施	
スポーツ用品レンタル・販売	自主事業	利用者の利便性向上のために実施	実施	
自動販売機	自主事業	熱中症対策・利便性向上のための飲料水販売	実施	
キッチンカー	自主事業	軽食や飲み物の販売	実施	5月から11月頃までの実施

【指定管理者コメント】

テニス教室・テニススクールのどちらも定員数いっぱいにはなったが、仕事や用事で来れない人が多い。

【施設所管課コメント】

振替の対応を行うことで、最大限参加者数を確保したことは評価できる。次年度以降においても、利用者のニーズを把握し、反映した自主事業の運営に取り組まれたい。

課題及び課題解決の結果

【指定管理者コメント】

経年劣化による施設の老朽化・破損が進んでおり、指定管理者で対応できない大規模な修繕を含め対応策を大津市と協議していきたい。

【施設所管課コメント】

規模の大きな修繕等については、随時市と協議を行うことで、迅速に対応していきたい。

特記事項等

※評価基準：項目別評価、《総括》、総合評価の評価基準（A～D）は、モニタリングチェックシートと同様とする。

※評価手順

